

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 吉日

事業所名 ベーテルの夢

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3		事務所スペース一角をクールダウンのできる空間としている。近隣の公園、児童館等も利用している。	指導訓練スペースを可能な限り広く確保するために備品や器具の配置に留意しています
	2	職員の配置数は適切である	5	1			定員10名の児童に対し、2名の職員配置基準のところ、ベーテルでは4名を配置しています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1			利用児の必要応じ、室内のリフォームを行いバリアフリー化にする予定です 1階にもシャワーがあるとよいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6				週に1度のスタッフミーティング、個別支援計画作成、法人への事業報告等にすべてのスタッフが関わるようにし、参加できない職員には議事録を回し意見書等の提出をお願いする予定です
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				保護者からの意見など随時閲覧し職員で共有している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1			ホームページや書面にて配布するなど初年度の自己評価を公開します
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1			第三者委員会の設置は次年度以降予定しています
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				事業開始以降、順次研修等の情報を得、スタッフには必要な知識や経験の習得に励んでいます
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				スタッフミーティングにおいて知り得た情報を共有し、各スタッフの感想も踏まえ客観的なデータを収集しニーズと課題を分析しその上で個別支援計画書に移行します
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				多くのアセスメントツールの事例を集め、当事業所に合った内容を編集中です。コンサルタント事業者の協力も得ながら、真に有用な内容のツールを活用したいと考えています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				プログラムの見直しや改善、新しいプログラムの導入に向けてスタッフミーティング等で検討しています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			子どもたちのフームを大切にし、遊びの中から発達・成長を促せるようにしている	アンケートや保護者連絡帳にある意見交換に記載された内容を通してプログラムの見直しに必要な根拠を得たいと思います
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1			個別の支援計画に基づき、集団のプログラムにも取り入れ取り組みやすい配慮を心掛けています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				支援プログラムの内容は様々なデータをもとに組み立てられた内容になっていません、これを基本として利用児童の状態で性格と他利用児童との関係性を考慮しながら進めています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				始業前の申し送りに、法人理念の確認、当日の役割、利用児童の確認と支援内容の確認を行います
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6				終業時に振り返り作業を必ず行います。ここにおいて当日の反省点を確認し保護者への連絡事項をまとめ、次回の利用に向けた情報の整理を行います
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				個別支援計画書、保護者への連絡事項などに連動した記録用紙を用いて、記録内容に矛盾が生じないように留意しています
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				1か月に1度のモニタリングを行い、スタッフミーティングにおいて共有された情報を加味しながら、児童発達管理責任者によって計画の見直しを行います
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1			職員会議などでガイドラインなどを学び、共有することで基本活動を組み込むようにしていきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				サービス担当者会議には児童発達管理責任者又は管 理者が出席し、必要に応じて担当職員が出席するよう にします
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6				事業所内において共有されている情報を担当者会議や送迎時に確認し合い、ま た利用当日、学校内で起きたことや様子などを情報として提供してもらい利用時 の細かい留意点とします
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	2			対象児無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	1			対象児無し
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	3	3			対象児無し
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	1		行政主催(くくむい、 砂場の会等)定期的 に参加	児童発達支援管理者を通して連携し、継続的な関係性 の維持を通して利用児童に必要な支援の在りについて 助言をえています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	6			こどもボランティア等 を取り入れている	学校等の機関と調整しながら、壁のないサービスに努 めてまいりたいと思います
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	5	1			当該サービスの客観性を保持するために、児童発達支援管理責任者、児童指導 員等を通して参加し、可能な限り地域に根差したサービスの在り方と利用児童本 位のサービスの構築を目指したいと思います
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				日々の連絡帳や、個別にての相談支援やメールにて のやり取りを通し、子どもの現状等を把握し迅速に対 応できるようにしています
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	4	2		ベアトレイダー研修等に参加 予定 (コロナウイルス影響にて開催 が急遽中止となった)	今後、保育や医療の専門家と連携しながら、利用児童 の必要に応じて取り組んでいきたいと思っています	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6			別途費用徴収に関しては具体的 な金額等記載した便りを別途 配布している	契約時や毎月発行のペーテル通信等において、当事業所の基本的方針や支援 内容、利用に係る費用についてご連絡しています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6			毎日の連絡帳や送迎の 際の交流を通して、気にな る事を共有し支援につ なげている	必要に応じて児童発達支援管理者、児童指導員、その 他のスタッフが相談援助の役割を果たしていきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	4	1	1		家族会(保護者会)等を早急に立ち上げ取り組んでま いりたいと思います
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6			相談内容について、 職員で共有、内容を 回覧している	情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集 に努め、必要な対応をとっていききたいと思っています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6			日々の活動の様子 等、ホームページ、イ ンスタグラムにて発 信している	ペーテル通信を毎月発行します。これを通して利用事 業所の方針や活動概要について周知していく予定です
	35	個人情報に十分注意している	6			事前に写真等を初めとする個 人情報について配慮し、保護者 の確認、承諾を得ている	すべてのスタッフが個人情報保護に関する研修を受け、この点について十分な理 解をし、利用児童とおのご家庭の安全安心に努めます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6				情報伝達の方法や配慮すべき点について情報の収集 に努め、必要な対応をとっていききたいと思っています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	5		1	開所式等地域の方へ参 加を呼び掛けて行った	ペーテル主催のイベントを企画し積極的に開催できる よう取り組んでいきたいと思っています

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			近隣消防署等への連携、交流を図りながら、机上訓練をはじめ、訓練の実施を必要に応じ行った	各種マニュアルについても策定し、スタッフと確認しながら保護者へも周知していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			年間行事に取り組み日頃から避難場所(児童センター)への道のりを散歩コースに取り入れている	防災訓練等(防火・防災)に関する避難訓練を防災計画書において提出した内容に従って行っています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		1	職員会議などで常に話し合い気づきを大事にしている	虐待防止に関する研修について、特に意識しながら研修に参加し、知り得た情報や伝達研修・所内の研修を通してスタッフ内で共有していくように努めます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		1		身体拘束0を基本とし、拘束しないケアの在り方についてスタッフ全員で取り組み、高齢者福祉サービスから得た考え方やノウハウを現場に活かし、保護者との十分なコミュニケーションを通して計画していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		対象児無し	ご家庭より提出される情報に合わせ、必要に応じて医師の指示書を提出してもらうようにしていきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	1	書式、事例集作成中	ヒヤリハットの必要性を認識し、大きな事故に繋がらないようにスタッフ間で共有し、事例集も作成していきます